



NS Solutions

 **NIPPON STEEL**

2024年3月期第1四半期 (2023年4月1日～2023年6月30日) 業績概況

2023年7月28日

日鉄ソリューションズ株式会社

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

取締役の東條でございます。

本日はお忙しい中、弊社決算説明会にご出席いただき、
ありがとうございます。

本日15：00 に開示いたしました、第1四半期決算の内容について、ご説明いたします。

I -1. 連結決算業績

単位：億円

	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	対前年 差異	増減率
売上収益	651	688	+36	6%
売上総利益 <売上総利益率>	148 <22.7%>	161 <23.4%>	+13 <+0.8%>	9%
販売費及び一般管理費	83	96	+13	16%
その他損益	0	0	+0	0%
営業利益 <営業利益率>	65 <10.0%>	66 <9.6%>	+1 <-0.4%>	1%
税引前利益	67	69	+2	3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	44	40	-3	-8%

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

2

最初に、2024年3月期第1四半期の連結業績です。

連結売上収益は、対前年同期+36億円増の688億円、
売上総利益は、対前年同期+13億円増の161億円となりました。

引き続き付加価値重視のオペレーションに取り組んだことに加え、
案件構成差もあり、売上総利益率は0.8ポイント改善の23.4%と
なりました。

一方で販管費は、営業力強化や社内基盤整備等により、
+13億円増の96億円となりました。
販管費増の中身は、のちほどご説明申し上げます。

結果、営業利益は、対前年同期+1億円増の66億円となりました。

I -2. サービス・顧客業種別売上収益

単位：億円

	2023年3月期		2024年3月期		対前年差異		コメント
	1Q		1Q				
	内コンサル& デジタル	<>	内コンサル& デジタル	<>	内コンサル& デジタル	<>	
ビジネスソリューション	442	<98>	455	<95>	+13	<-3>	
産業・鉄鋼	220	<42>	225	<38>	+4	<-4>	日本製鉄向け増、運輸向け減
流通・プラットフォーム	141	<33>	144	<35>	+3	<+2>	インターネットプラットフォーム向け増
金融	81	<23>	87	<23>	+6	<-1>	メガバンク向け増
コンサルティング& デジタルサービス	134		143		+9		プロダクト、クラウドプラットフォーム増
		<232>		<238>		<+6>	
子会社等	75		90		+15		
合計	651		688		+36		
(参考) 日本製鉄向け	139		153		+14		

(注) 当社は当期より開示区分の変更を実施しております。変更内容の詳細は2023年3月期決算資料をご参照ください。

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

3

続いて、サービス・顧客業種別の売上収益実績であります。
なお、前回ご説明の通り、今期より区分変更しております。

全般的には、どの区分につきましても増収を確保しており、
順調な滑り出しであったと考えております。

まず、ビジネスソリューションですが、売上収益は455億円と
前年比+13億円の増収となりました。

- ・ 産業・鉄鋼では、運輸向けの反動減があったものの、
日本製鉄向けが増加しております。
- ・ 流通・プラットフォームは、
主にインターネットプラットフォーム向けで増収です。
- ・ 金融においては、メガバンク向け等の増がありました。

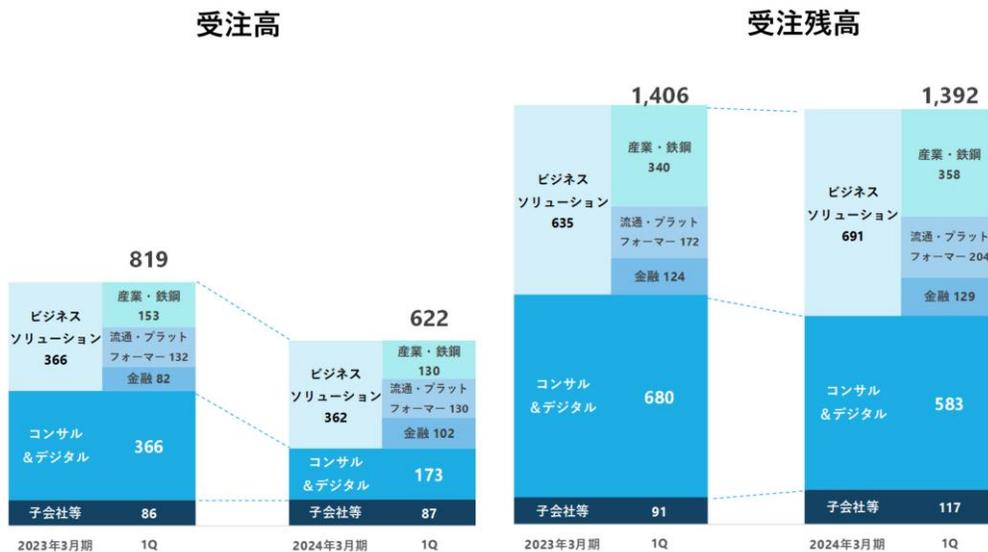
コンサルティング&デジタルサービスの売上収益は、143億円で、
+9億円の増収となりました。

これは主に、プロダクト系とクラウドプラットフォームの売上が好調に
推移したことによるものです。

子会社等においても前年比+15億円の増収となりました。

I -3. 受注高・受注残高

単位：億円



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

4

続いて、受注高・受注残高をサービス・顧客業種別にご説明いたします。

こちらも同様に今期からの新区分で表示しております。

左側は、受注高のグラフです。

昨年度第1四半期の819億円から、622億円に大きく減ったように見えますが、これは、昨年度の、官公庁向け大型案件の反動減が主な理由です。

これを除くと受注高は増加しております。

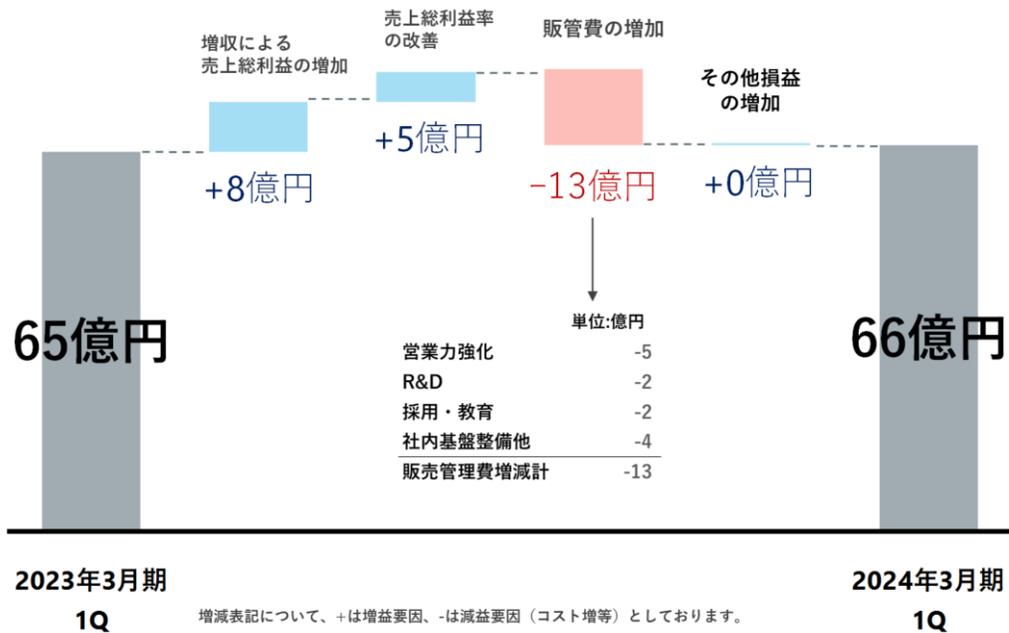
右側は、受注残高のグラフです。

昨年度第1四半期末の1,406億円から、1,392億円と14億円の微減ですが、これも、昨年度の、官公庁向けの大型案件の反動減が主な理由です。

これを除くと、同様に受注残高は増加しております。

したがって、官公庁向けの大型案件の反動減を除けば、当初見通し通りの順調な進捗である、と考えております。

I -4. 第1四半期連結営業利益分析



Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

5

連結営業利益の対前年同期分析を、ご説明いたします。

営業利益は、対前年同期+1億円増の66億円となりました。

売上収益は、対前年同期比36億円の増となっており、+8億円、
売上総利益率は、対前年同期比0.8ポイント改善しており、
+5億円となりました。

一方、販管費は-13億円の増です。

内訳は、営業力強化で-5億円、研究開発費で-2億円、
採用・教育で-2億円、社内基盤整備他で-4億円です。

これらの結果、

営業利益は、対前年同期+1億円増の66億円となりました。

Ⅱ -1. 上期連結業績見通し | 四半期別

単位：億円

見通しは前回からの変更無し

	2023年3月期			2024年3月期			対前年		
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 差分	上期 見通し	1Q 差異	2Q 差異	上期 差異
売上収益	651	696	1,347	688	712	1,400	+36	+17	+53
売上総利益 <売上総利益率>	148 <22.7%>	157 <22.5%>	304 <22.6%>	161 <23.4%>	159 <22.3%>	320 <22.9%>	+13 <+0.8%>	+2 <-0.2%>	+16 <+0.3%>
販売費及び 一般管理費	83	82	165	96	84	180	+13	+3	+15
その他損益	0	0	0	0	0	0	0	-1	0
営業利益 <営業利益率>	65 <10.0%>	75 <10.8%>	140 <10.4%>	66 <9.6%>	74 <10.4%>	140 <10.0%>	+1 <-0.4%>	-1 <-0.4%>	0 <-0.4%>
税引前利益	67	76	142	69	73	142	+2	-3	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	44	50	94	40	54	94	-3	+3	0

Copyright ©2023 NS Solutions Corporation. All Rights Reserved.

6

当期の業績見通しであります、
上期、通期とも前回公表からの変更はありません。

上期につきましては、
売上収益は1,400億円、営業利益は140億円の見通しです。

今後もトップラインの増加と付加価値重視のオペレーションによる
収益性改善を継続すると共に、費用につきましても、必要に応じ適切な
コントロールを実施することで、見通しを確実に達成してまいりたいと
考えております。

Ⅱ -2. サービス・顧客業種別売上収益見通し

単位：億円

	2023年3月期			2024年3月期			対前年		
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 差分	上期 見通し	1Q 差異	2Q 差異	上期 差異
ビジネスソリューション	442	447	890	455	475	930	+13	+28	+40
産業・鉄鋼	220	217	437	225	225	450	+4	+9	+13
流通・プラットフォーム	141	148	289	144	151	295	+3	+4	+6
金融	81	83	164	87	98	185	+6	+16	+21
コンサルティング & デジタルサービス	134	156	290	143	137	280	+9	-19	-10
子会社等	75	92	167	90	100	190	+15	+8	+23
合計	651	696	1,347	688	712	1,400	+36	+17	+53
(参考) 日本製鉄向け	139	139	277	153	152	305	+14	+14	+28

上期のサービス・顧客業種別売上収益見通しです。

公表値からの変更はありません。

Ⅱ-3. 連結通期業績 見通し | 上下別

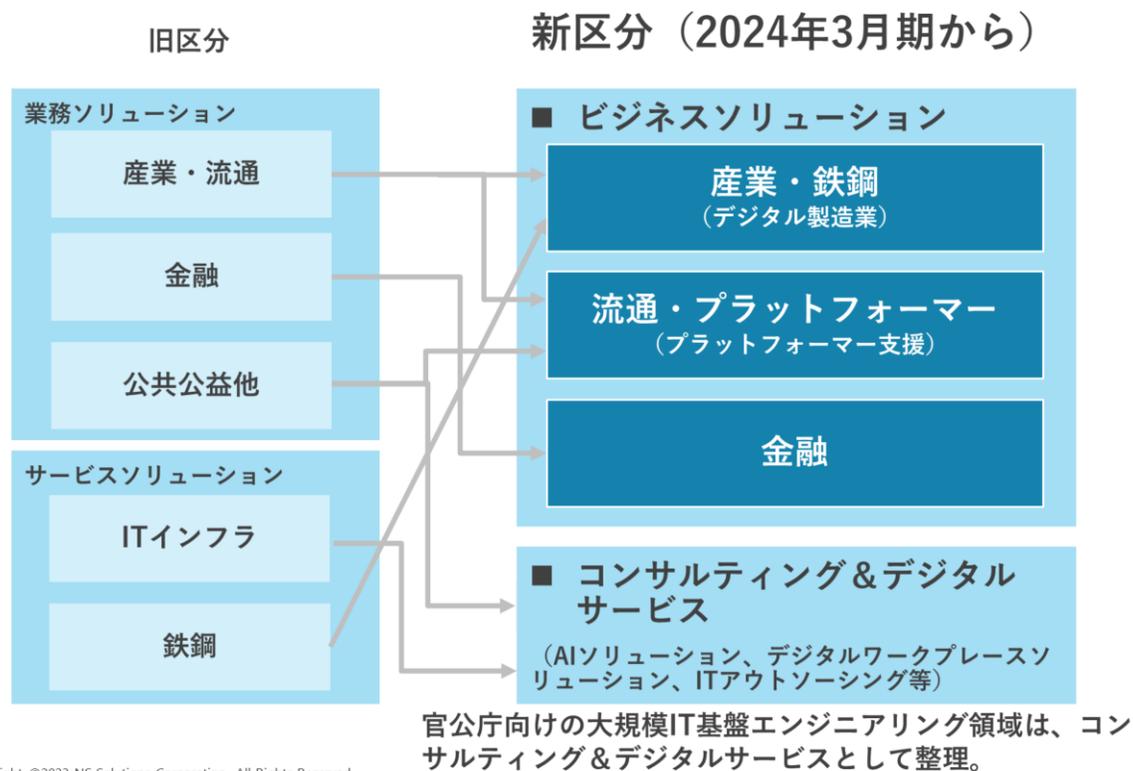
単位：億円

	2023年3月期			2024年3月期			対前年 (斜字は増減率)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上収益	1,347	1,570	2,917	1,400	1,650	3,050	4% +53	5% +80	5% +133
売上総利益 <売上総利益率>	304 <22.6%>	355 <22.6%>	659 <22.6%>	320 <22.9%>	380 <23.0%>	700 <23.0%>	5% +16 <+0.3%>	7% +25 <+0.4%>	6% +41 <+0.3%>
販売費及び一般管理費 その他損益	165 0	165 -12	330 -12	180 0	185 0	365 0	9% +15 0	12% +20 +12	11% +35 +12
営業利益 <営業利益率>	140 <10.4%>	177 <11.3%>	317 <10.9%>	140 <10.0%>	195 <11.8%>	335 <11.0%>	0% 0 <-0.4%>	10% +18 <+0.5%>	6% +18 <+0.1%>
税引前利益	142	179	321	142	198	340	0% 0	11% +19	6% +19
親会社の所有者に帰属する 当期利益	94	126	220	94	134	228	0% 0	7% +8	4% +8

上下別の通期見通しです。

公表値からの変更はありません。

(参考) 2024年3月期からの区分変更について



最後は、今期からの区分変更について、ご参考までに記載しております。

ご説明は、以上です。

主要ニュース・プレスリリース

2023年4月6日	【富士キメラ総研調べ】国内DaaS市場で仮想デスクトップサービス「M3DaaS」が10年連続シェア1位を獲得
2023年4月18日	世界No.1のDataRobot販売代理店として「Top Reseller Partner Award WorldWide」を受賞 ～あわせて個人賞「Partner of the Year」を6年連続受賞～
2023年4月20日	「東京レインボープライド2023」に協賛
2023年4月27日	教育現場のDX目指し、学校事務システム定額利用サービス「CampusSquare S Edition」を提供開始 ～100校以上のシステム支援の実績の下、契約から最短3か月でクイックに導入～
2023年5月30日	日鉄ソリューションズ、エクサウィザーズと業務提携 ～両社顧客のDX推進に向けた販売・提供力強化のための包括的なパートナーシップ～
2023年5月30日	データ分析世界大会“Kaggle”でGold Medal獲得 ～自然環境下の音から鳥の鳴き声を検知し、 鳥の種類を特定する「BirdCLEF 2023」で1209チーム中第6位に入賞～
2023年6月5日	日鉄ソリューションズの電子取引・契約サービス「CONTRACTHUB@absonne」、 累計文書登録件数が3,000万件を突破 ～見積から請求まで、取引全体の電子化をサポート～
2023年6月9日	「2023 Japan AWS All Certifications Engineers」を当社社員が受賞
2023年6月15日	三重県庁、データドリブンな行政運営の実現に向け、Google Cloudを採用 ～データに基づく課題解決・サービス創出に対応できるデータ活用基盤を整備～

主要ニュース・プレスリリース

2023年6月26日	農林中央金庫向けインターネット為替予約サービスの導入 ～外為総合インターネットバンキングサービスCrossMeetz（クロスミーツ）～
2023年6月29日	サッポロビールに「AI需要予測システム」を導入 ～需給ギャップの解消と業務の効率化・高度化を推進～
2023年6月30日	2023年8月8日開催「IDC Future of Workstyle Forum 2023, Japan」講演のお知らせ
2023年7月4日	旅行業界向けDX支援ソリューション「TRIPHOO」の販売開始 ～USAEL社と販売代理店契約を締結、ツアー企画・販売に伴う業務の一元管理・実行を支援～
2023年7月5日	Oktaのアイデンティティ管理ソリューション提供開始 ゼロトラストセキュリティモデルへの移行を加速
2023年7月24日	生成AI/ChatGPT活用支援サービスを提供開始
2023年7月25日	出雲市と「高度ITエンジニアの育成及び新規事業創出に関する連携協定」を締結
2023年7月26日	「FTSE4Good Index Series」及び「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定



ともに未来を考え
社会の新たな可能性を
テクノロジーと情熱で切り拓く

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。